

長期運用型UUV(1/2)

艦艇装備研究所 水中対処技術研究部 無人航走体連携研究室

事業概要

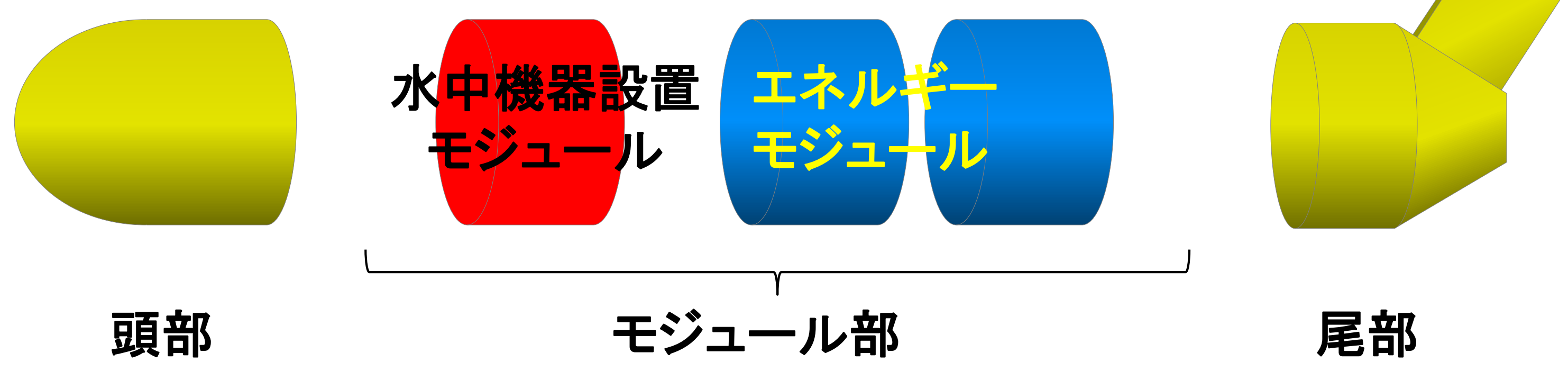
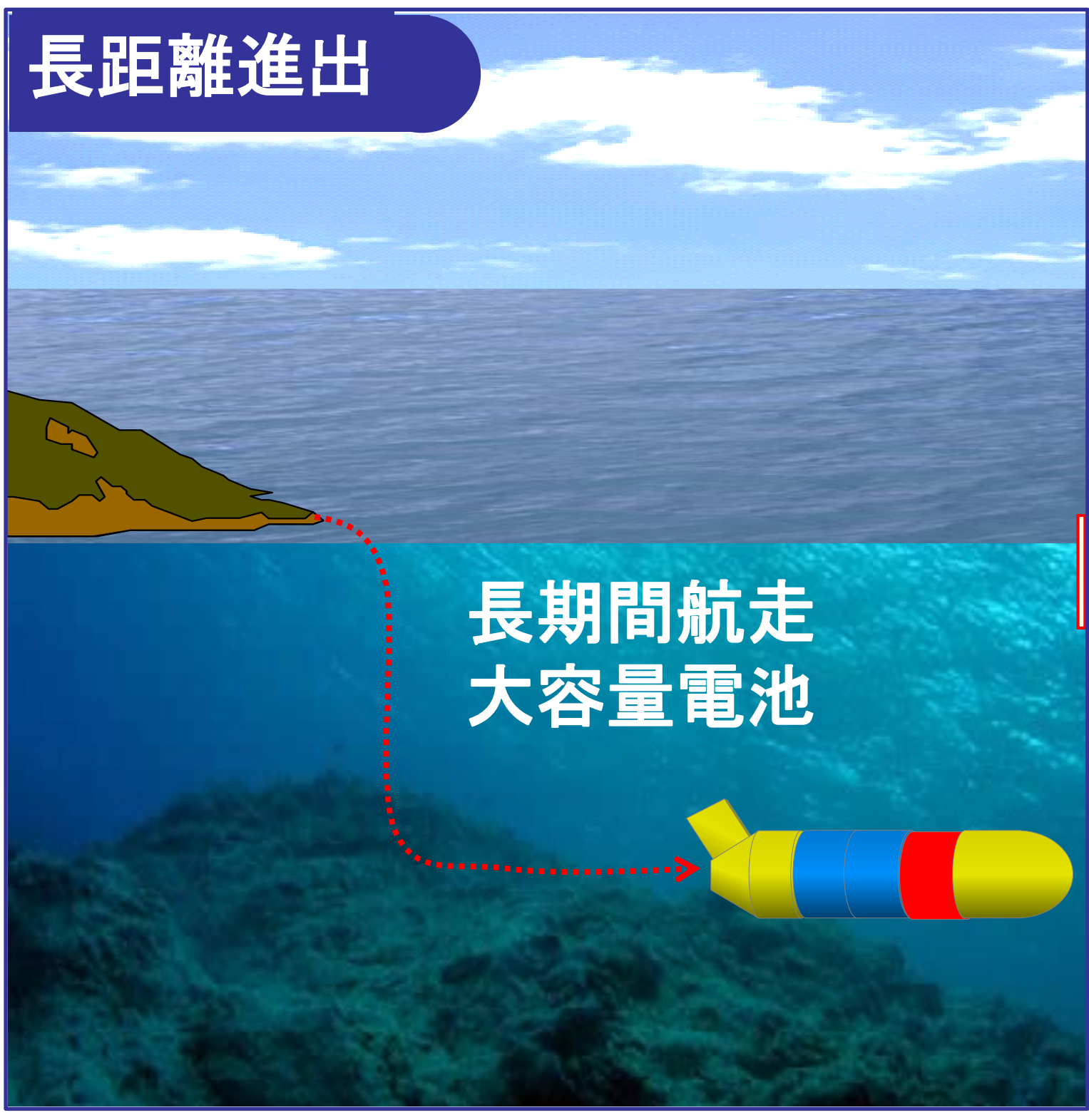
目的 我が国を守り抜くために必要な機能・装備の一つである、無人アセット防衛能力の早期創製を目指し、多様な任務に対応可能な水中無人機(UUV)を実現するためのモジュール交換可能な長期運用型UUVを研究する。

将来のUUVに求められる主な能力

- ・ 遠方から高脅威下へ単独で進出
 有人艦の伴走なしの長期運用／長距離進出能力
 強化された信頼性、残存能力
 自律性(状況認識、判断、行動)の高度化
- ・ ミッションの拡がり、複雑なミッションへの対応
 重量物(水中機器等)の敷設
 常続的な情報収集・警戒監視・偵察

研究内容

- ・ UUVの現行の信頼性、自律性を向上
- ・ 水中機器敷設機能の実現
- ・ モジュール化



モジュールの組合せで様々なミッションに対応



防衛装備庁



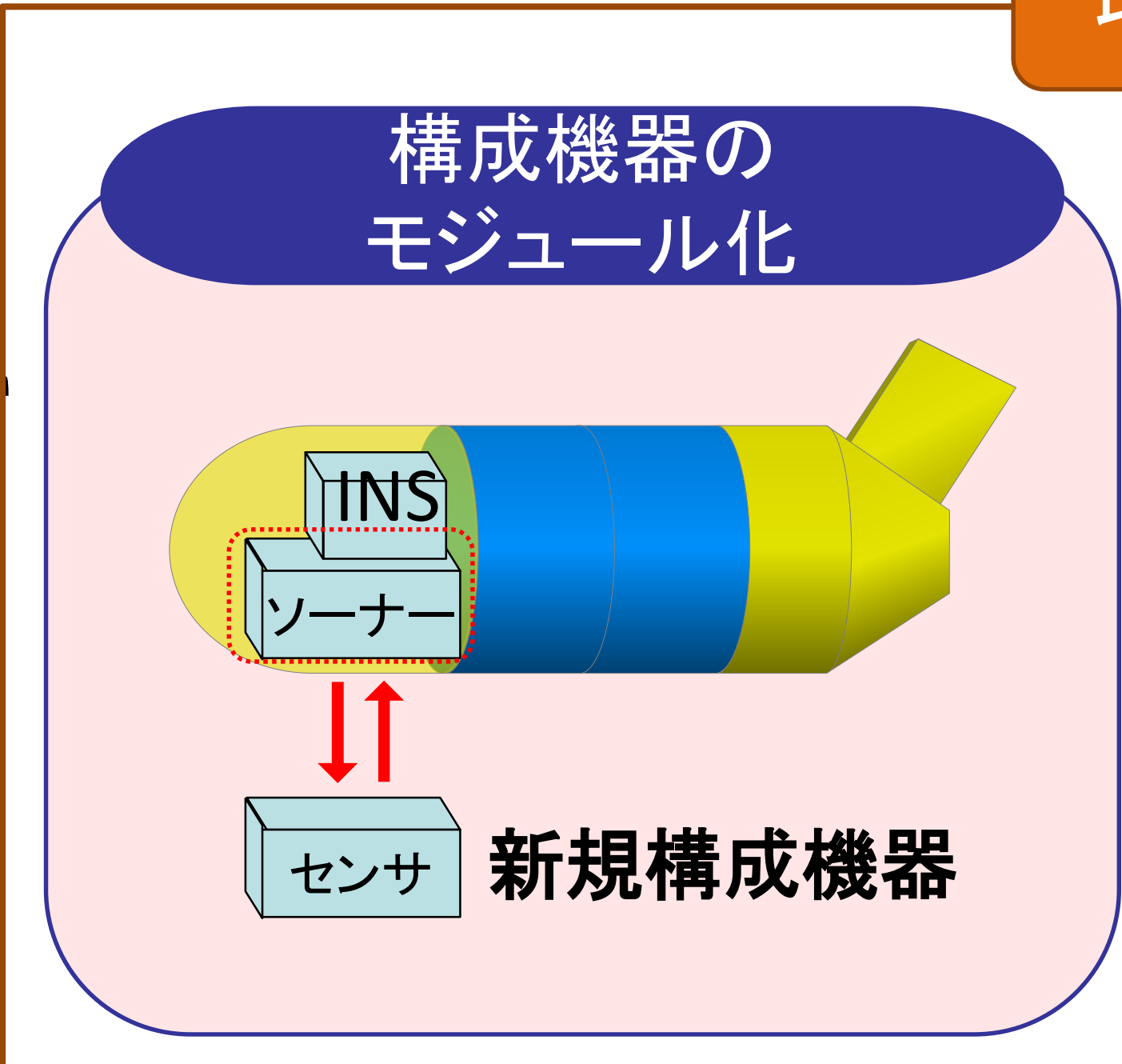
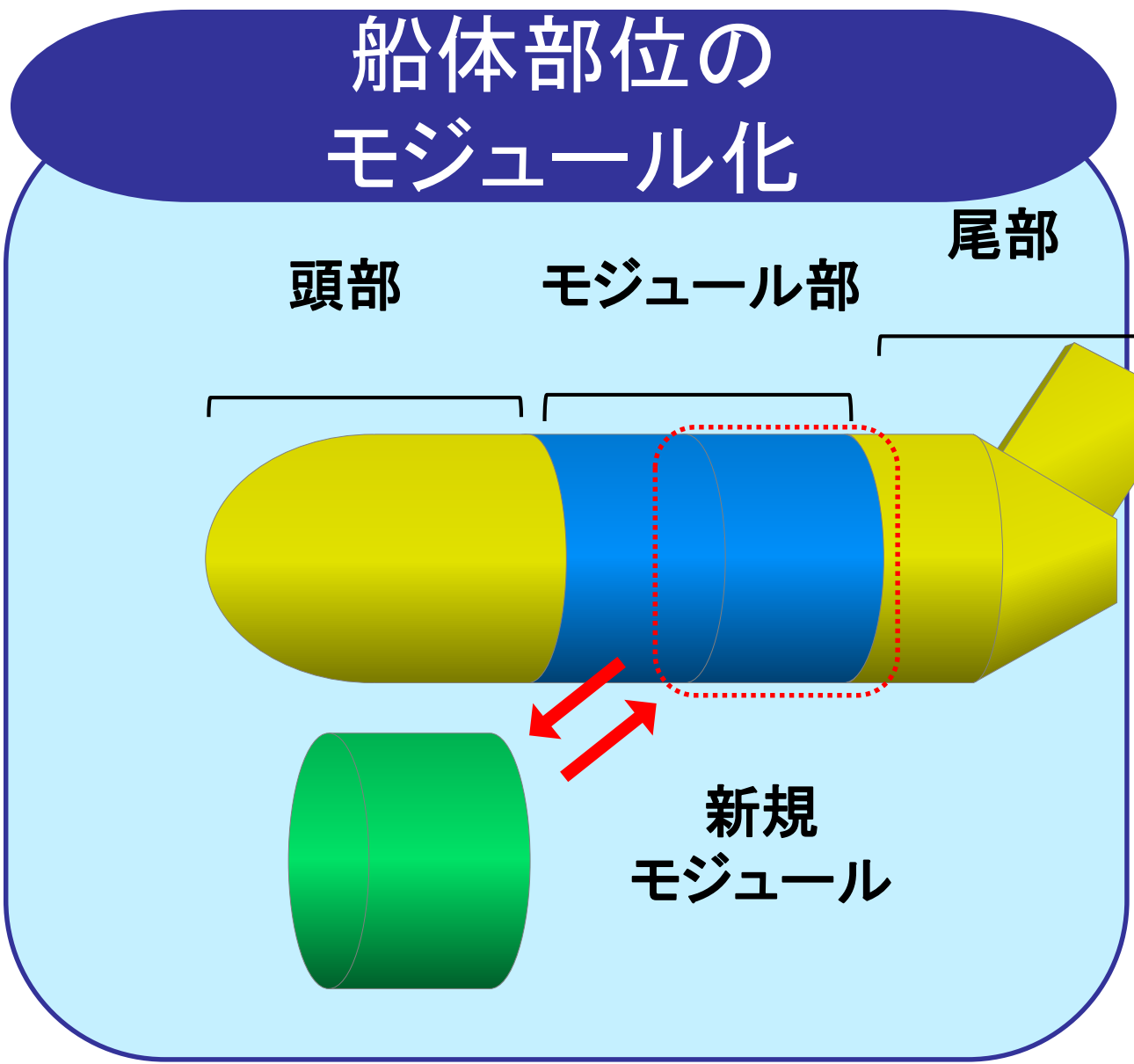
長期運用型UUV(2/2)

艦艇装備研究所 水中対処技術研究部 無人航走体連携研究室

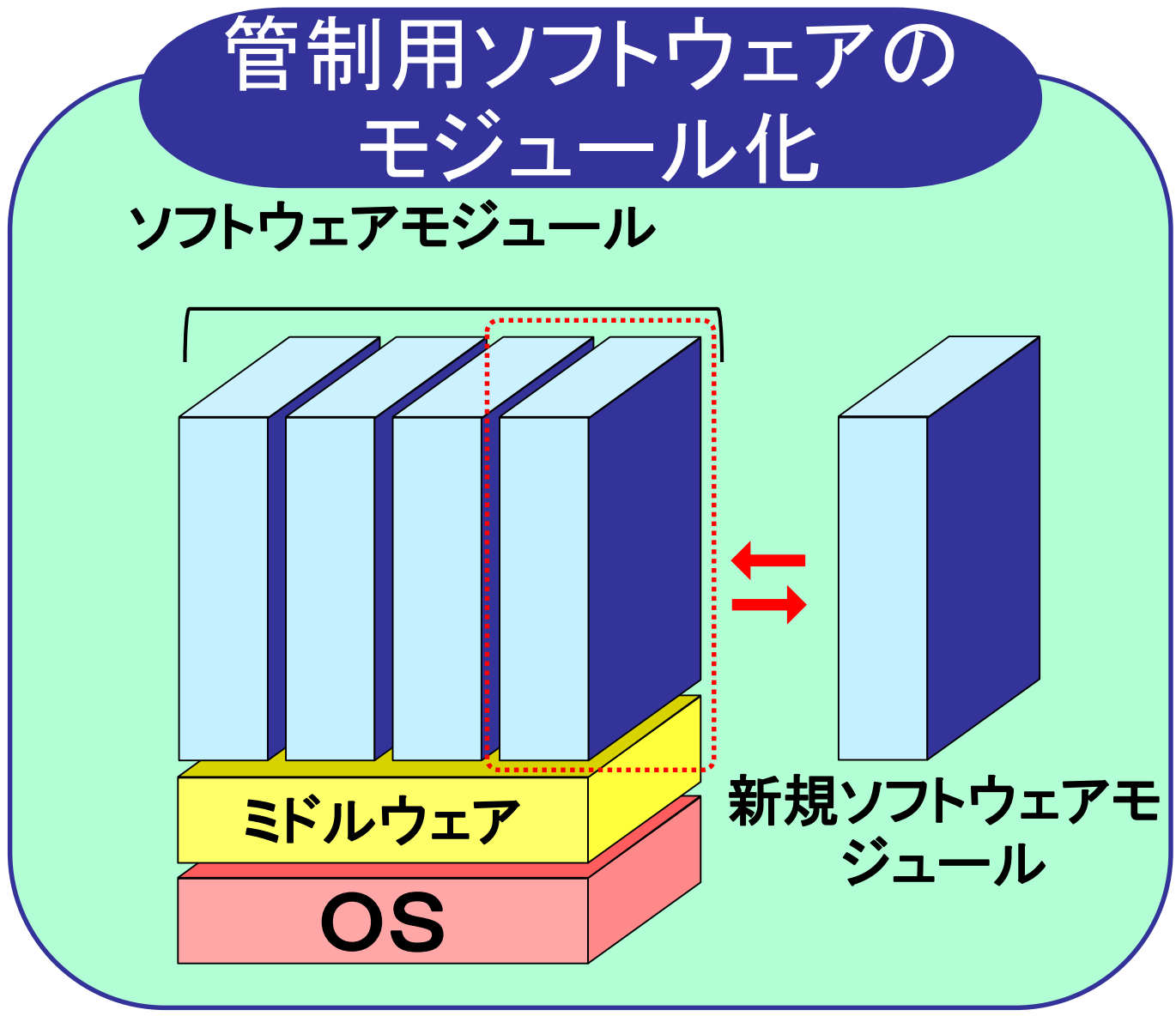
民生UUVへの活用

試作事業を通じて①船体部、②構成機器、③ソフトウェアについて**モジュールが満たすべき規格基準**を定め、公開、共有する。ここで定める仕様は、今後防衛省で開発するUUVに用いていくとともに、民生UUVでも幅広く活用を促しUUV研究開発の活性化を図る。

長期運用型UUVで活用するモジュール方式

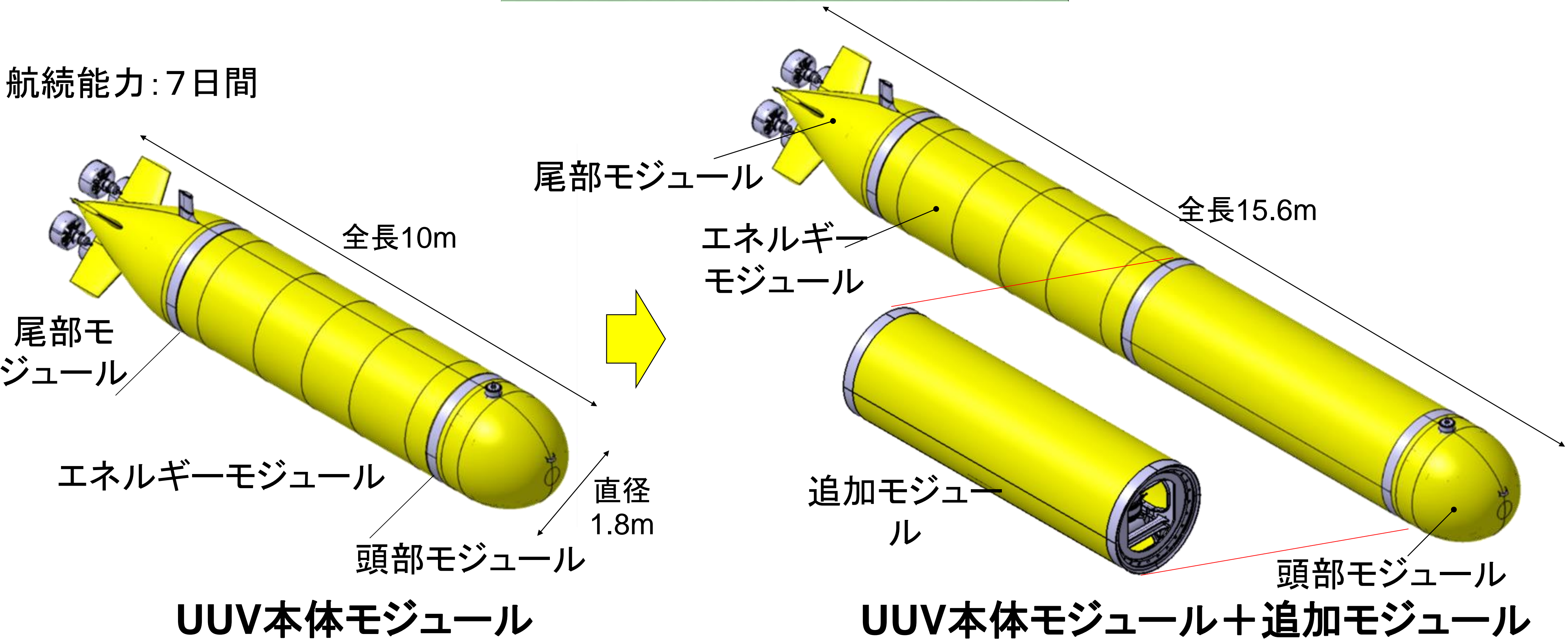


民生に対しても提案するモジュール方式



研究試作品概要

航続能力: 7日間



今後の予定

岩国サテライト及び実海面にて性能を確認する

その他

シップ・オブ・ザ・イヤー2022(日本船舶海洋工学会)
海洋構造物・海洋機器部門賞受賞